

# 生分解性マルチの利用状況 樹脂の出荷量調査結果

2024年度（2024年6月～2025年5月）  
出荷量調査の結果をお知らせします

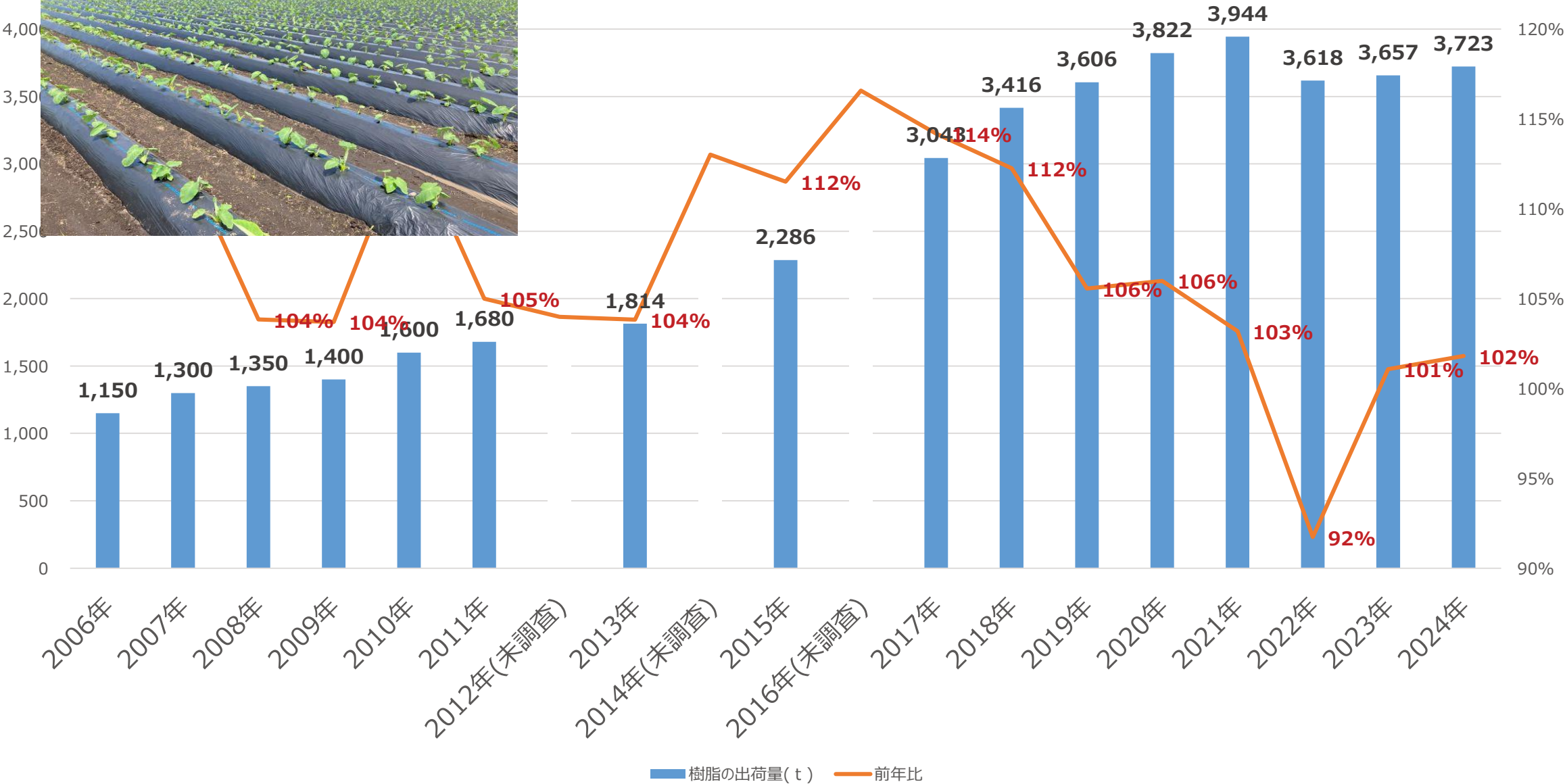


農業用生分解性資材普及会  
2025年12月

# 生分解性マルチの利用状況 樹脂出荷量 (トン)



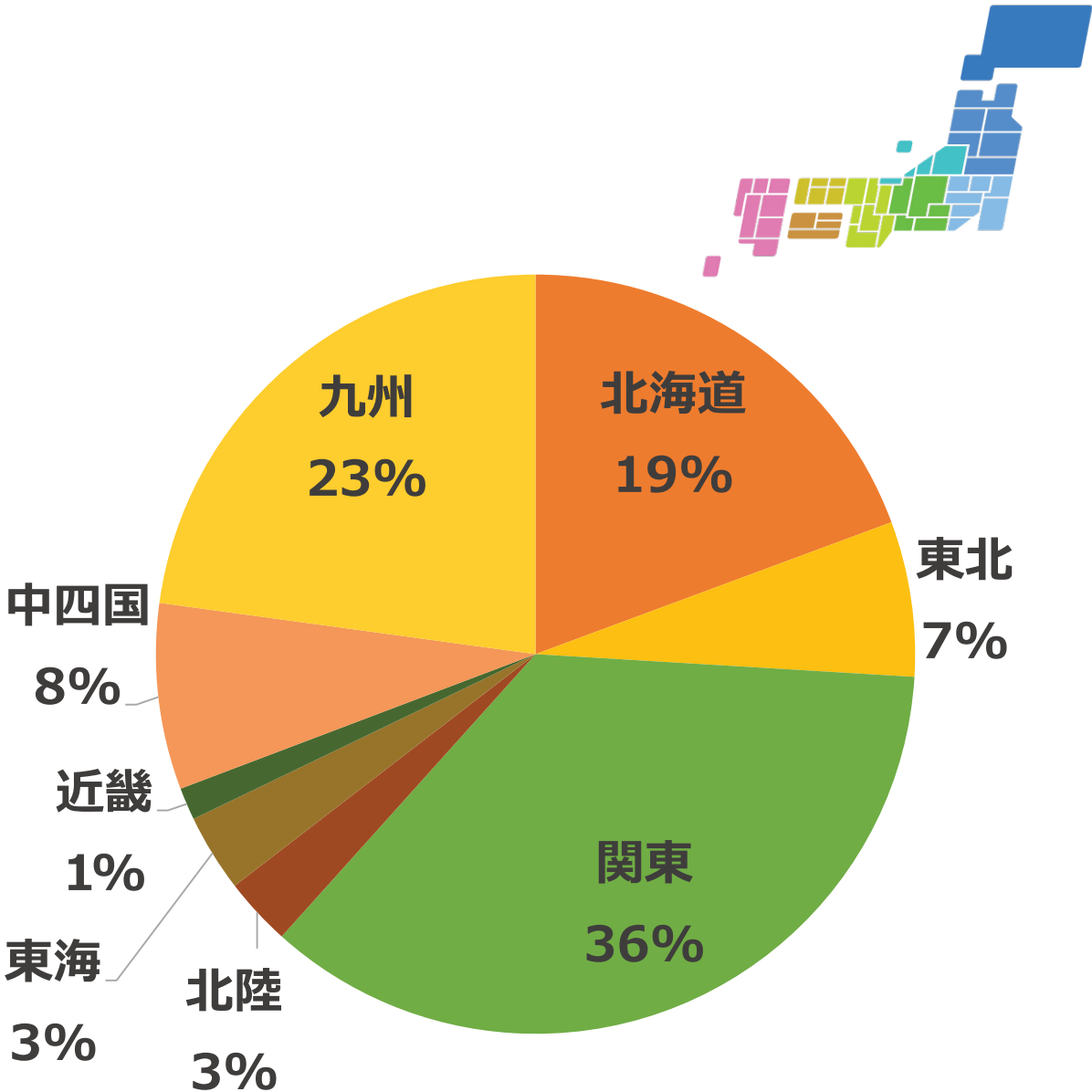
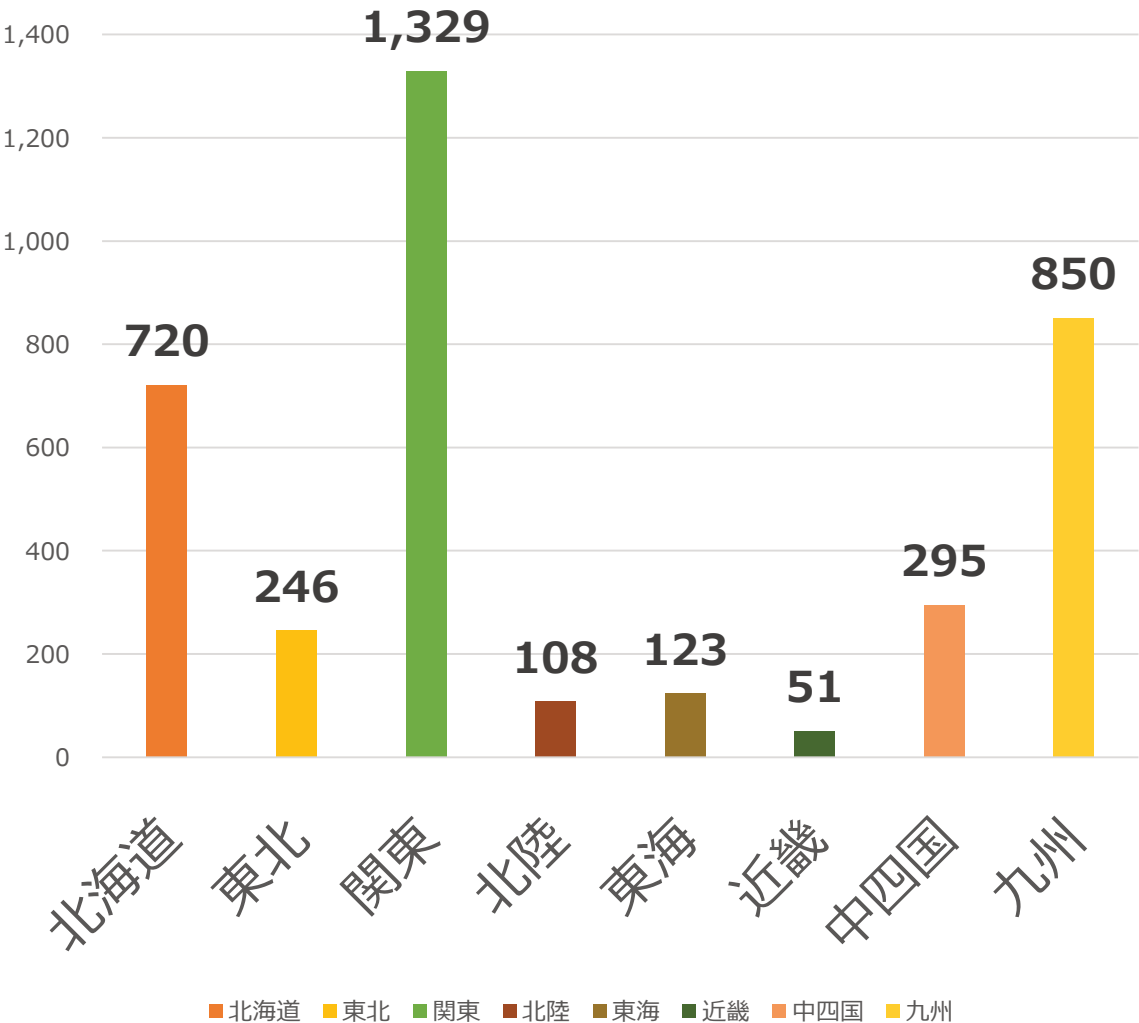
生分解性マルチの樹脂出荷量 トン



# 2024年度 生分解性マルチの利用状況 地域別

2024年度 生分解性マルチの利用状況

地域別重量(トン) 合計 : 3,723トン

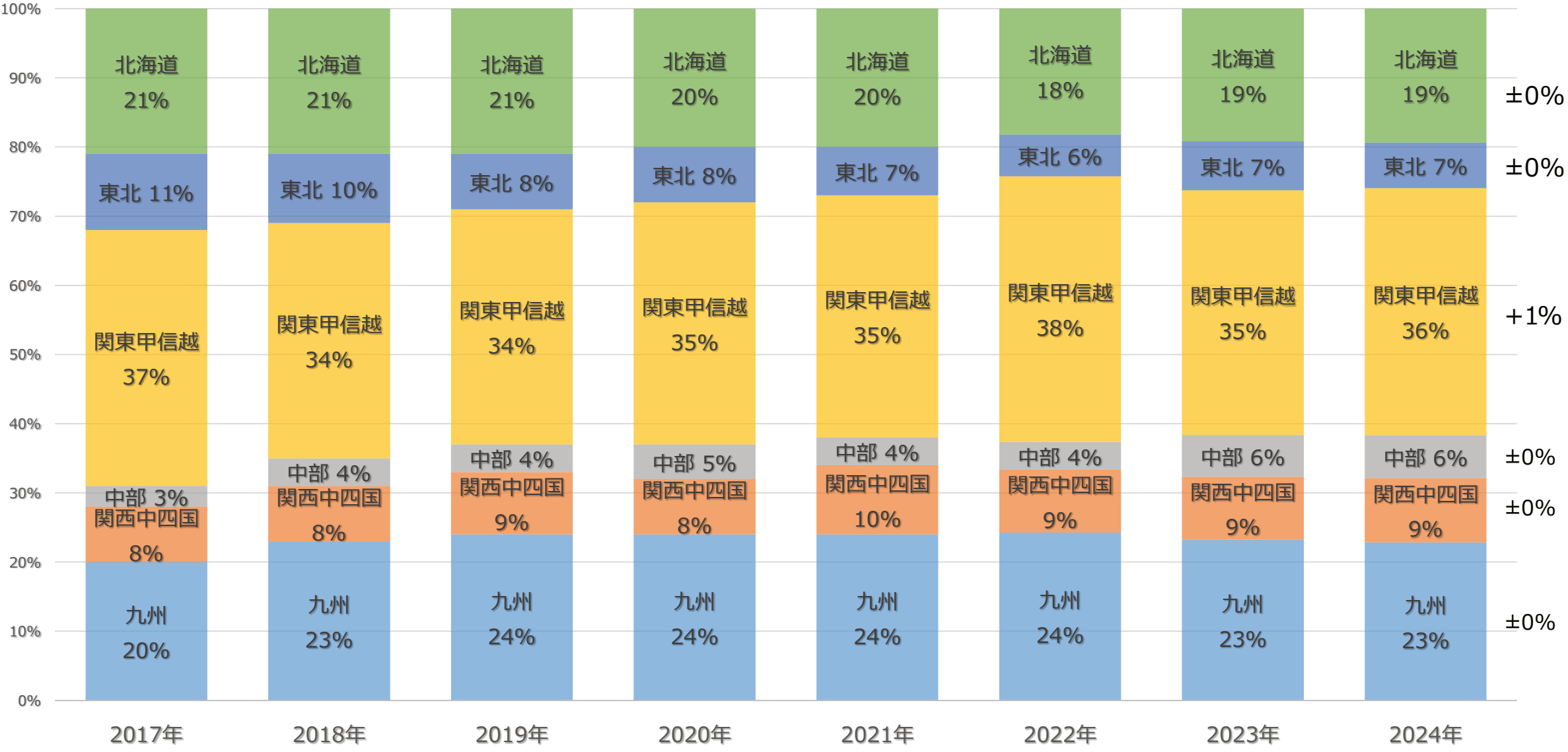


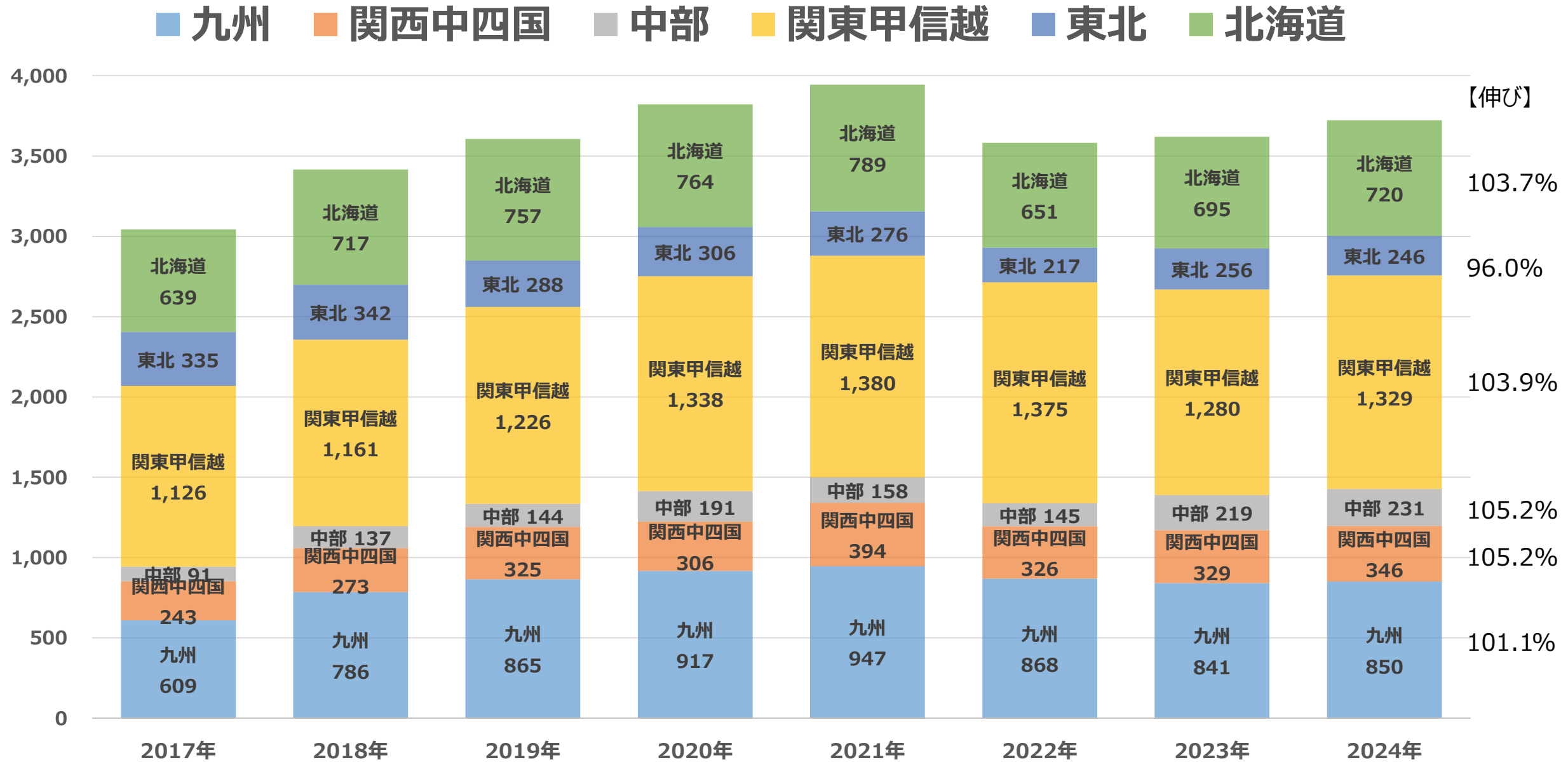
# 生分解性マルチの利用状況 地域別シェアー



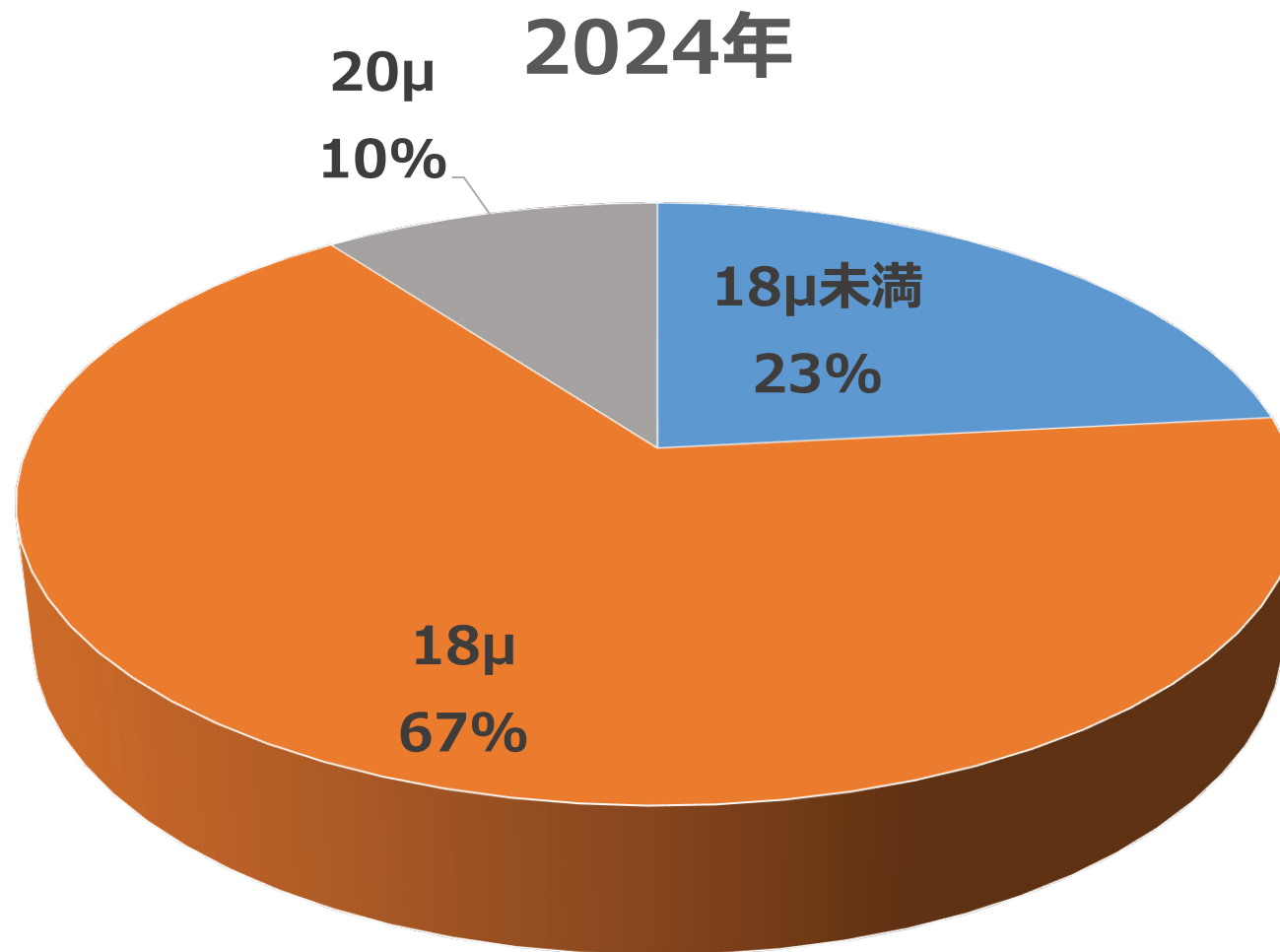
九州 関西中四国 中部 関東甲信越 東北 北海道

【前年差】





# 生分解性マルチの利用状況 厚み別割合



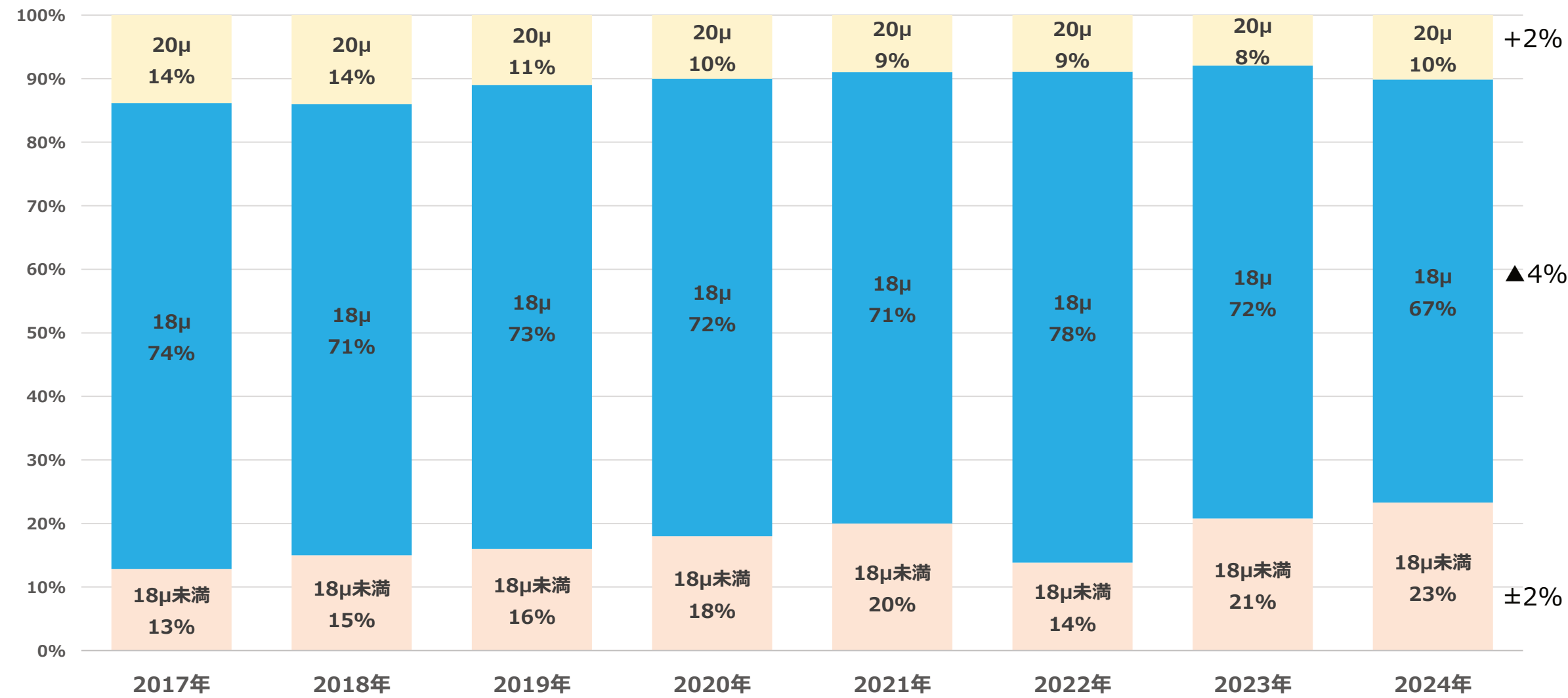
# 生分解性マルチの利用状況 厚み別割合



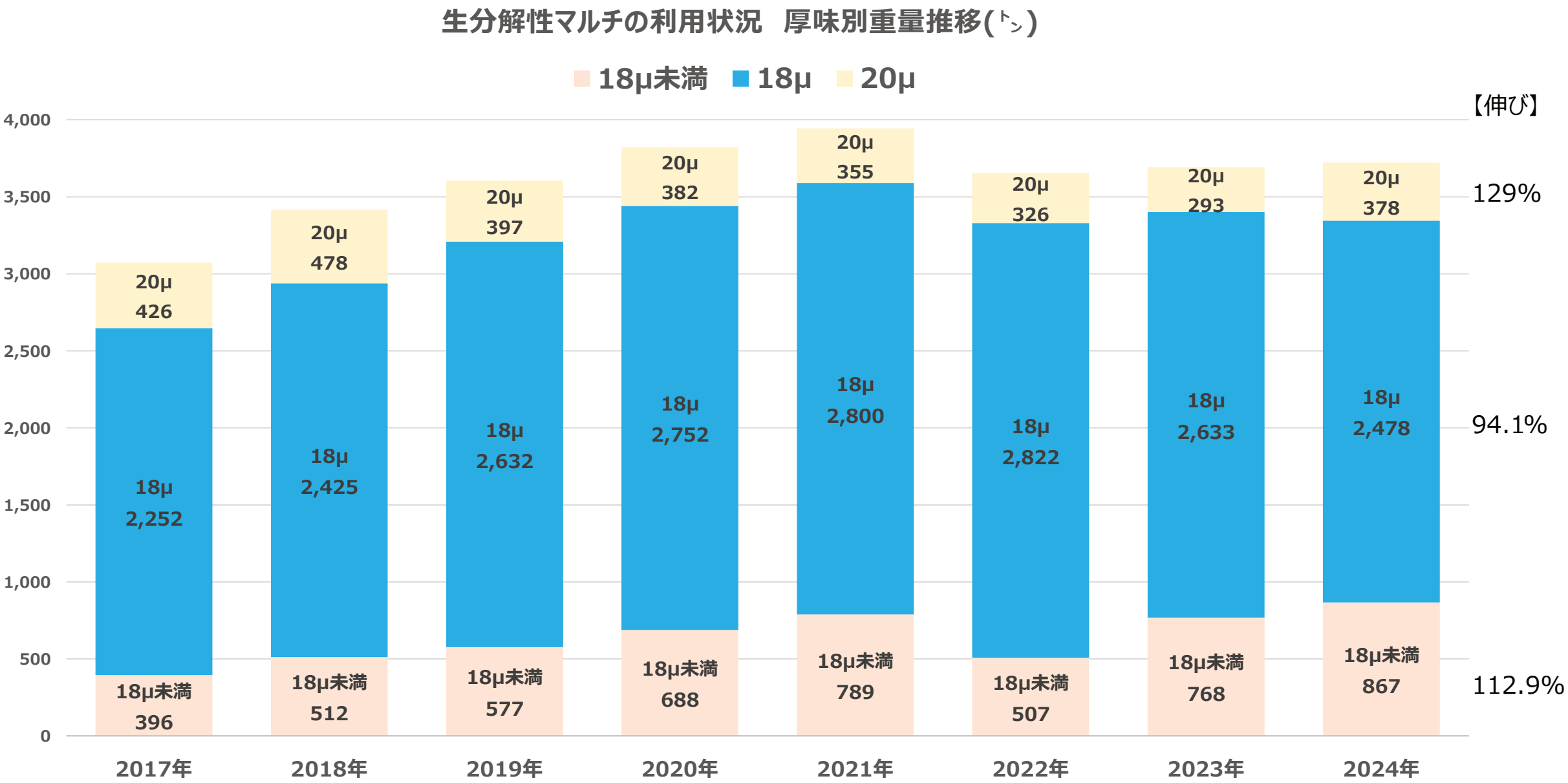
生分解性マルチの利用状況 厚味別シェア

【前年差】

18μ未満 18μ 20μ

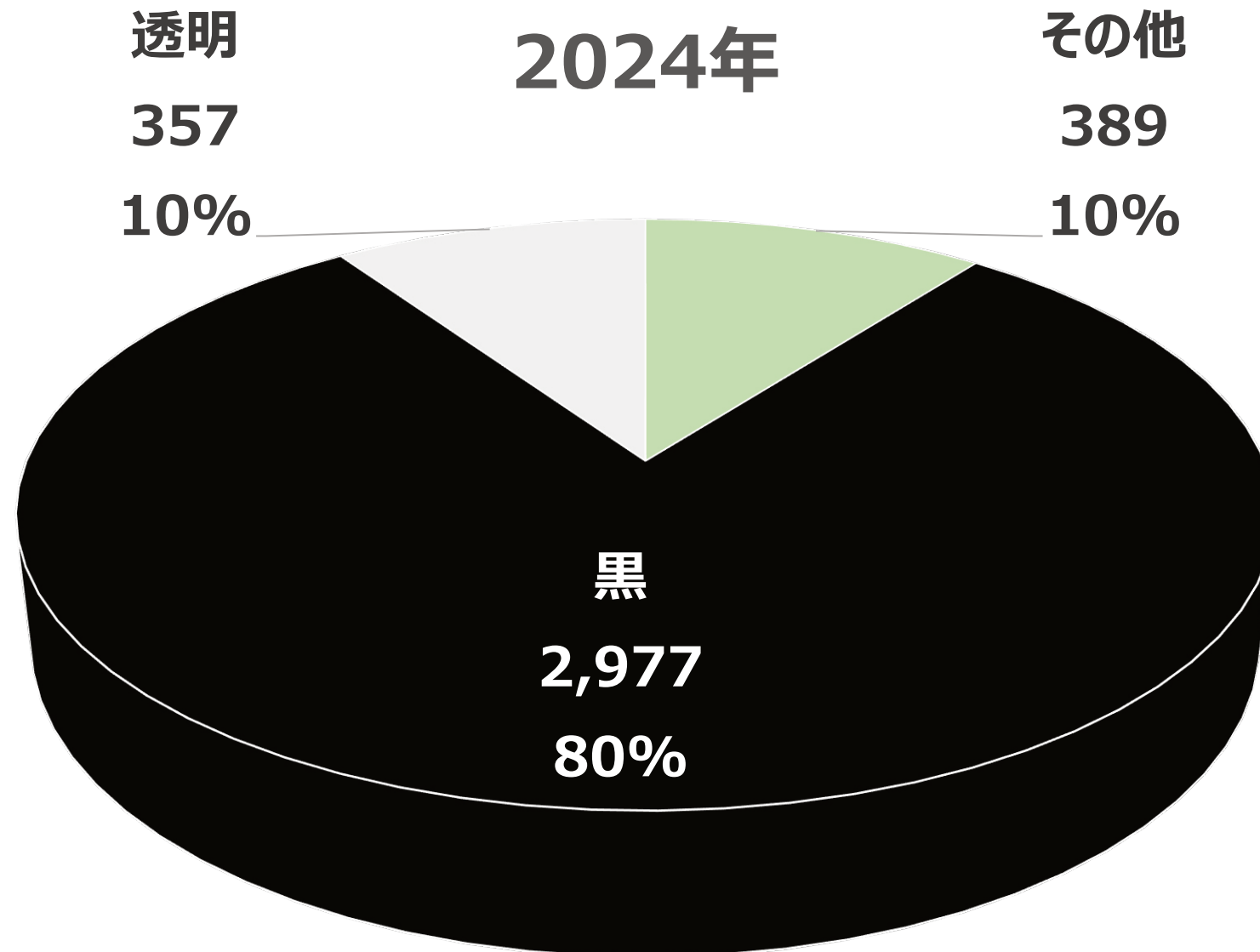


# 生分解性マルチの利用状況 厚み別重量推移(トン)





# 生分解性マルチの利用状況 色相別割合



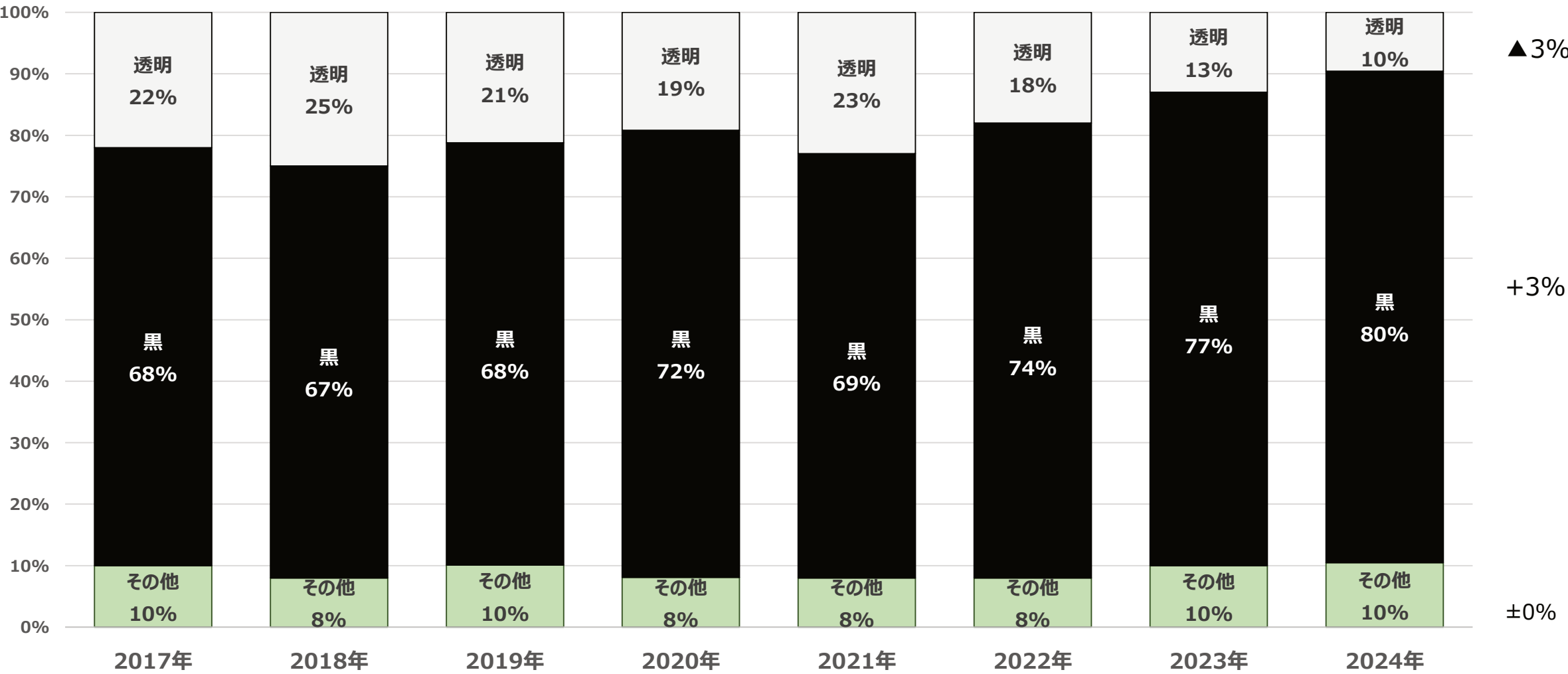
# 生分解性マルチの利用状況 色相別割合



生分解性マルチの利用状況 色相

■ その他 ■ 黒 □ 透明

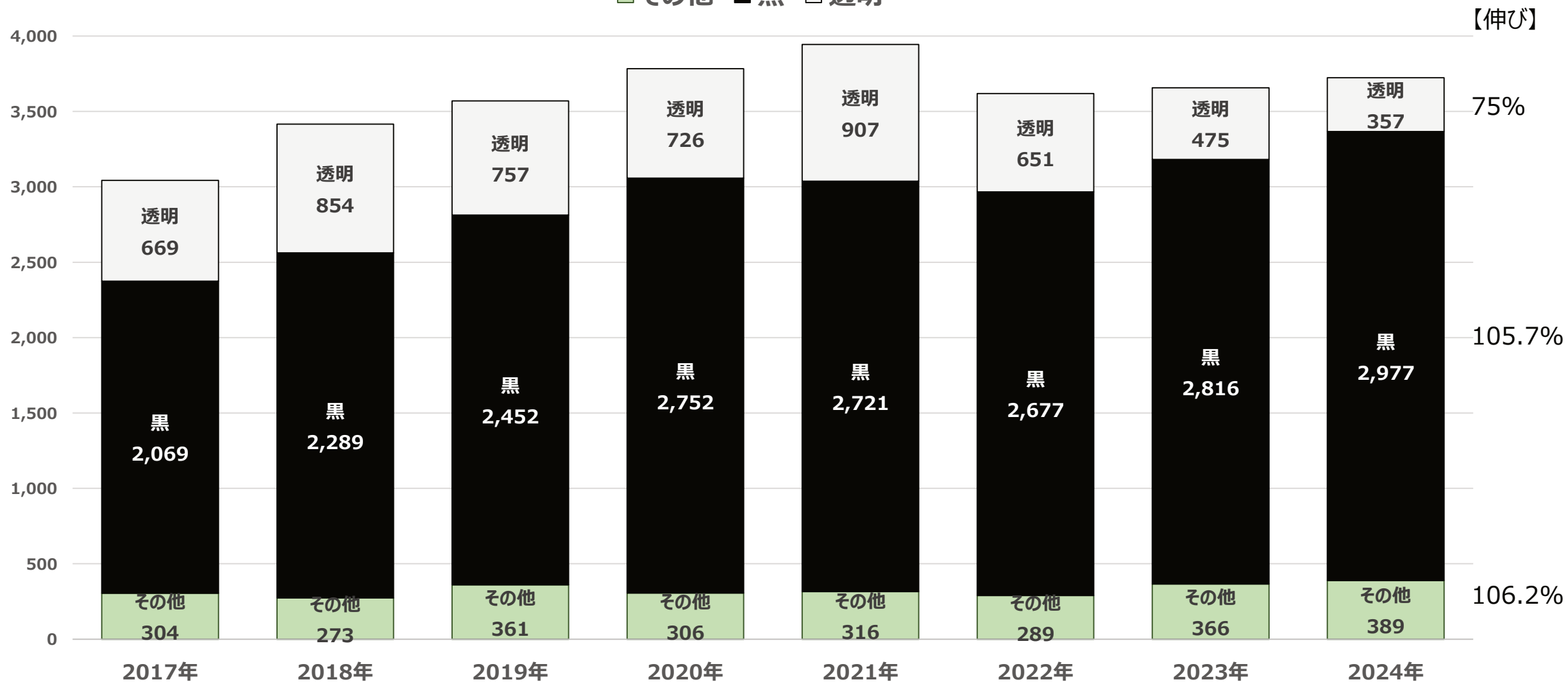
【前年差】



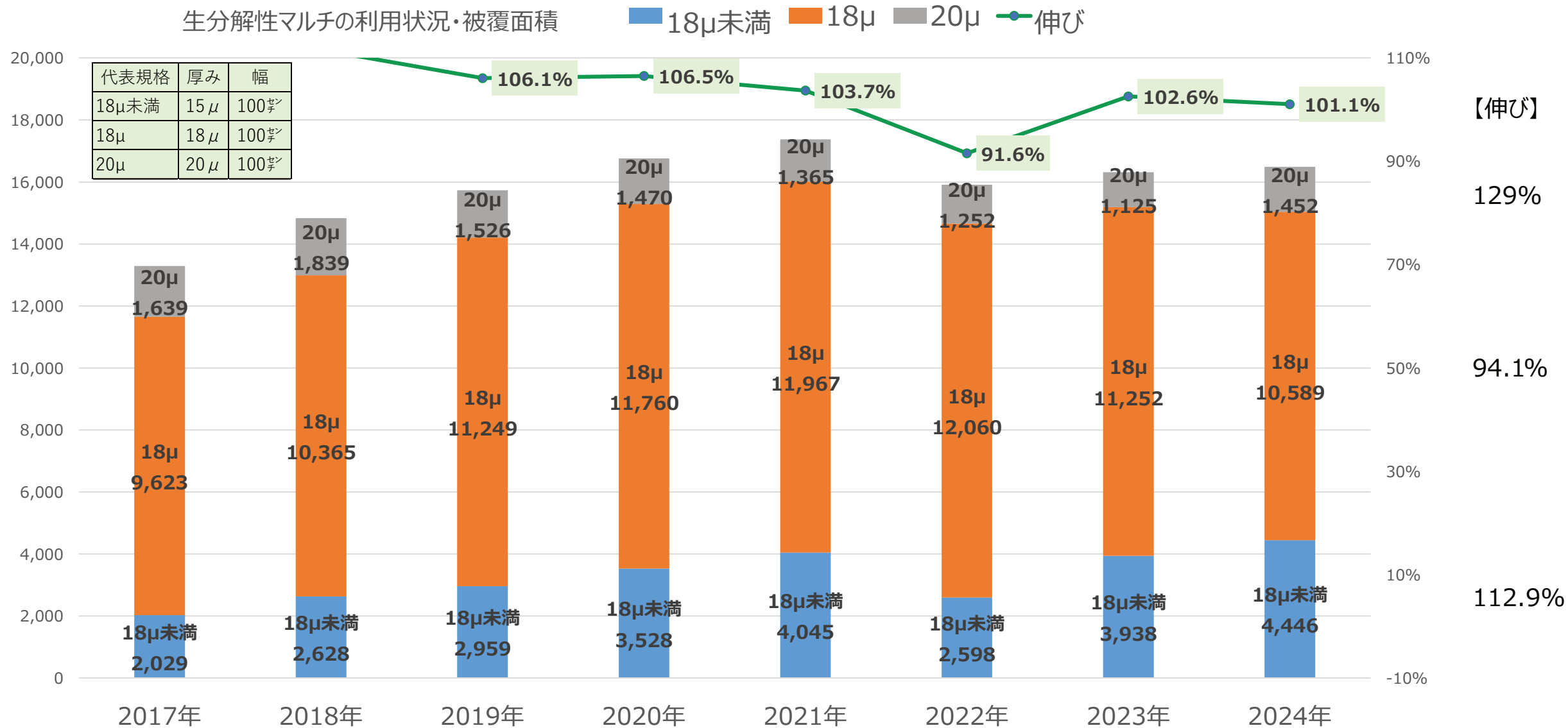
# 生分解性マルチの利用状況 色相別重量推移(トン)

## 生分解性マルチの利用状況 色相別重量推移(トン)

■ その他 ■ 黒 □ 透明



# 生分解性マルチの利用状況 被覆面積 (ha) <推計>

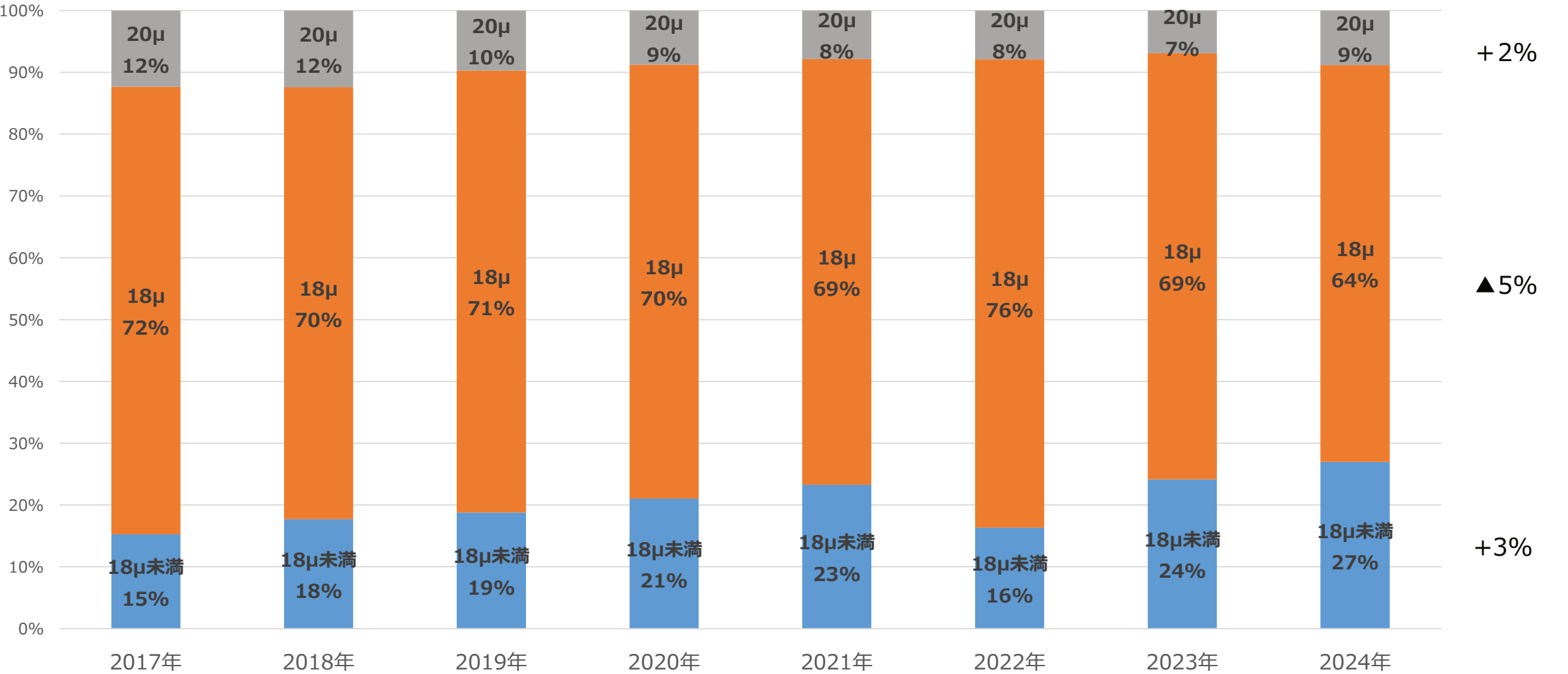


# 生分解性マルチの利用状況 被覆面積（ha） ＜推計＞

代表規格	厚み	幅
18μ未満	15μ	100センチ
18μ	18μ	100センチ
20μ	20μ	100センチ

生分解性マルチの厚み別被覆面積比率

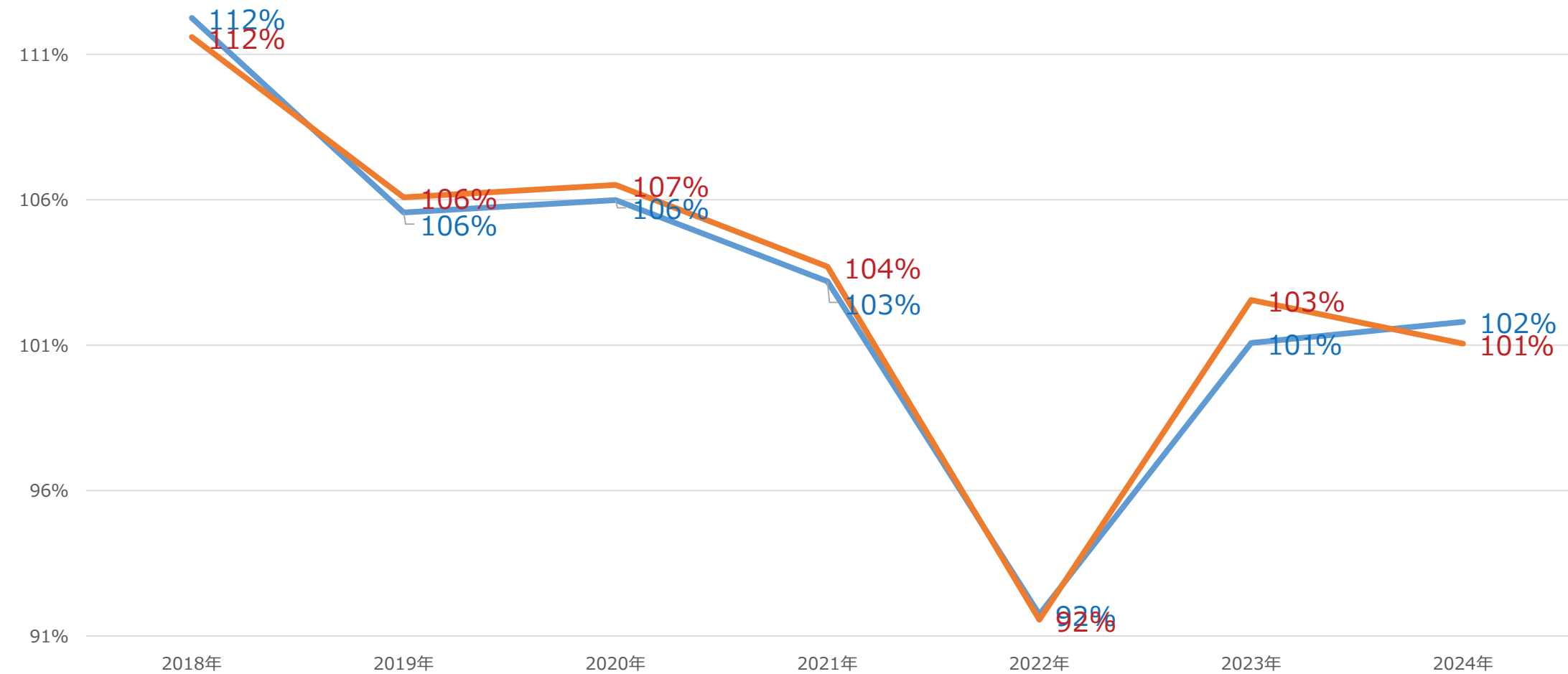
■ 18μ未満 ■ 18μ ■ 20μ



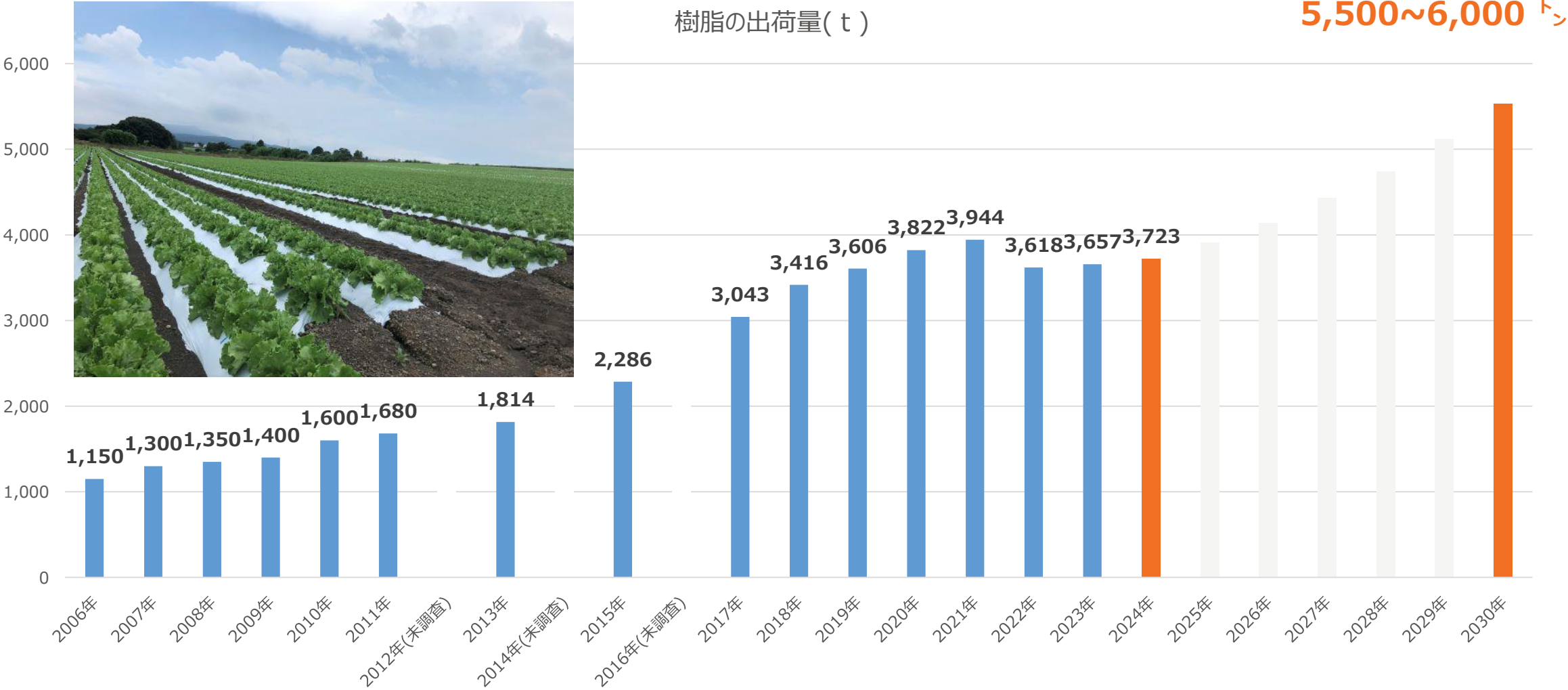
# 生分解性マルチの利用状況 重量-面積<推計>の伸び率



—重量伸び —面積伸び



# A B Aは2030年の国内生分解性マルチ市場を5500トン～6000トンへの成長を目指します



# 生分解性プラスチックの安全性

## JBPA（日本バイオプラスチック協会）の認証

日本では生分解の認証は唯一JBPAのみが発行しており、それを取得するには様々な基準をクリアしてはじめて生分解性プラスチックとしての認証を得ることができる為、生分解性及び安全性も高いことが立証されている。

こうした生分解性の基準と、環境適合性の審査基準を満たした製品に「生分解性プラ」のマークと名称の使用を認められている



生分解性  
バイオマスプラ



生分解性プラ

バイオマス度25%以上

## ABA（農業用生分解性資材普及会）の認証

農業用生分解性資材普及会(A B A)は、農業用生産資材の分野において、生分解性プラスチック（日本バイオプラスチック協会）の規定による生分解性プラ・マーク製品を使用した資材について、開発・利用・普及を促進するために2004年8月に設立しました。会員の製品メーカー、原料製造メーカーなど13社と、賛助員の5団体が参画しています。事務局は日本農民新聞社内にあります。現在は、普及が最も進んでいる生分解性マルチフィルムの利用促進を中心に活動しています。

